

2024年1月吉日
生活協同組合コープさっぽろ
広報部

経済産業省の物流改善に向けた小売業の在庫管理・発注業務DXの実証実験 納品リードタイム延長と発注量平準化に関する実証をシノプスと実施

生活協同組合コープさっぽろ(以下、コープさっぽろ)、並びに関連会社の北海道ロジサービス株式会社(以下、HLS)は、経済産業省が有限責任監査法人トーマツ(以下、トーマツ)に委託している事業「令和5年度流通・物流の効率化・付加価値創出に係る基盤構築事業(販促商品等のリードタイムの延長、物流レジリエンスの向上に向けた小売業の在庫管理・発注業務のDX)」において、トーマツからの再委託された株式会社シノプス(本社:大阪府大阪市、代表取締役:南谷 洋志、以下「シノプス」と連携して、需要予測型自動発注サービス「sinops-CLOUD」を活用した販促商品等のリードタイムの延長や発注業務DXの実証実験を開始いたしました。

物流業界には、人口減少に伴う労働力不足の深刻化や、トラックドライバーの時間外労働が960時間に規制されることによる「2024年問題」など、さまざまな課題が存在しています。これらの課題に対応し、加工食品・日用雑貨などのサプライチェーンを最適化するためには、小売業の在庫管理と発注業務を改善する必要があります。特に、需要予測技術の活用が重要です。通常の商品については需要予測ツールが広く利用されていますが、新商品や販促商品においては販売予測がむずかしく、それが過剰在庫や不足分の追加発注といった問題を引き起こしています。

コープさっぽろの店舗およびHLSの運営する物流センターにて、新商品と販促商品の小売りから仕入先への発注確定日を前倒しする、納品リードタイム(以下、「納品LT」)長期化の実証実験を行います。従来3~7日程度であった納品LTを2週間程度まで長期化させます。小売店舗では、納品LTを延長した場合、欠品や過剰在庫の発生が懸念事項ですが、本実証実験ではsinops-CLOUDによる需要予測データを活用し、欠品・過剰在庫の発生を極小化しつつ、納品LTを延長する実証実験を行います。納品LTを長期化することで、卸売業の特売期間中の追加発注の対応に向けた在庫調整業務の負荷軽減、物流センターの過剰在庫や欠品の防止、物流の効率化が期待できます。そのほか、曜日ごとにバラつきがある発注量を平準化することでトラック配車の効率化に関する実証実験も実施予定です。

本実験は、2023年10月より上記の実証実験を開始しました。本実験を通してコープさっぽろとしては発注の効率化を、HLSとしては入出荷の効率化やトラック配車の効率化を目指します。本実証実験の途中成果は2024年2月20日に経済産業省が開催予定の第2回北海道地域フィジカルインターネット懇談会の機会に発表される予定です。

■株式会社シノプスについて

シノプスは、「世界中の無駄を10%削減する」をビジョンに掲げ、需要予測型自動発注サービス「sinops」(シノプス)を開発・販売しているソフトウェアメーカーです。日配食品や惣菜といった賞味期限が短く需要予測がむずかしいとされるカテゴリのシステム化に成功。多くの食品小売企業に採用されています。在庫に関わる人、もの、金、時間、情報を最適化するITソリューションを提供し、限りある資源を有効活用することで、広く社会に貢献しています。東証グロース上場(証券コード:4428)

■北海道ロジサービス



【報道関係のお問合せ先】

生活協同組合コープさっぽろ 常務理事 小松 均 広報部 広報メディアグループ 小林恵莉 ・ 森ゆかり
〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10-1 TEL 050-1741-5516(平日9時~18時)